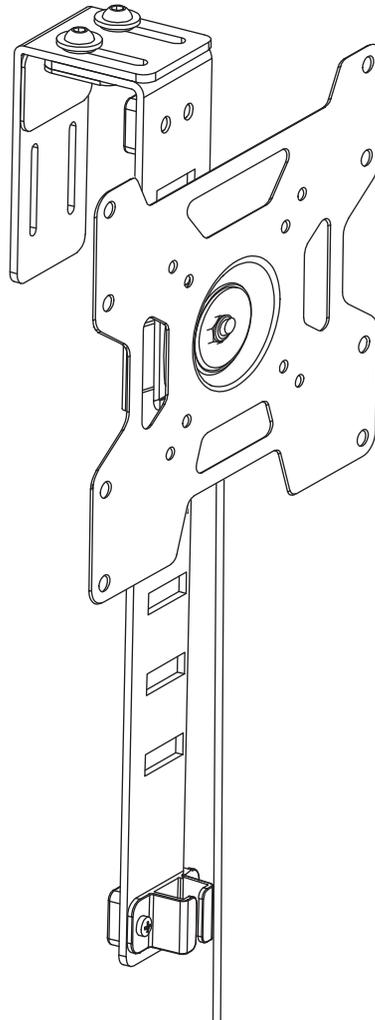


パーティション用モニター設置金具
使用・取付け説明書

型番
『PRM-PTA23』



この度は本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
設置の前に本説明書をよくお読みのうえ正しく設置・使用してください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性及び、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止の行為である事を告げるものです。

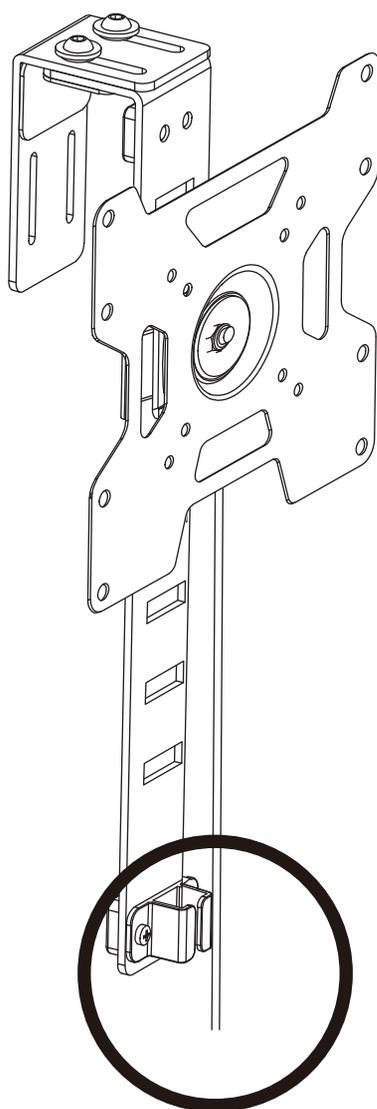


行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

 **注意**

 モニターの高さを調節するために金具本体から伸びている紐を引っ張る際は、必ずモニターの下を持って重みを支えながら行ってください。

紐だけを引っ張ると勢いよくモニターが落下する恐れがあり大変危険です。



警告

-  本説明書が無視した組み立て設置や誤った組み立て設置、取付け不良、取付け強度不足、本来の目的外の利用及び、天災などによる事故や破損については、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
-  本商品はパーテーションに上から引っ掛けて設置する金具です。壁には設置できませんのでご注意ください。
-  金具自体の不備や不具合にはご対応できますが、設置側の構造・強度については当店では責任が持てない事をご了承ください。お客様ご自身で強度をご確認の上、自己責任にて設置をお願いします。
-  本商品は、日曜大工 (DIY) が得意な方でしたら設置側の構造の確認を十分に行った上で作業をすれば設置可能な場合もあります。ただしお客様による設置施工・工事については弊社では一切保証できず、自己責任となります。
-  お客様ご自身で取付けを行う際は取付け場所等に十分注意し、自己責任で取付けを行ってください。少しでも不安のある場合は無理に取付けを行わず専門業者へ依頼してください。
-  必要な部品は本説明書通りの手順で全て確実に取付けてください。不備がある場合、モニターの落下事故や家屋の破損が発生する恐れがあります。
-  設置場所の材質や場所によって耐荷重が異なります。取付ける場所を確認し、少しでも取付けが困難と思われた場合は中止してください。
-  商品ごとに定められている許容重量以下のモニターのみをご使用ください。
-  次の場所には、設置をしないでください。
 - 振動や衝撃が頻繁にあるような場所及び設置が水平にならないなど不安定な場所
 - ぐらつく、傾くなど不安定な場所
 - 人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - 屋外や海岸、温泉に近い場所、温度・湿度の高い場所
 - 動力用電源配線、空調機器、防磁型でないスピーカーに近い場所
 - テレビの通気が悪い場所、通風を妨げるような場所
 - 開閉するドアの近くなど、日常生活の行動に支障をきたす場所
 - 常時人がいる場所の真上など万が一落下した場合に危険性が高まる場所
 - その他強く固定ができない不安定な場所や、設置する事で危険性が増す場所など

注意

-  取付けを行う前に、モニターが今回お買い上げの金具に取付けできるかを今一度確認してください。パーテーション側の取付けを行った後に、モニターの取付けが出来ないと発覚しても弊社では一切の責任を負いかねます。何卒慎重にご確認ください。
-  金具の種類やモニターの大きさによっては、重量がある場合がございます。基本的には2人以上で組立・設置作業を行ってください。
-  設置作業を行うにあたって、安全性を十分に考慮し、設置中の怪我や部屋及び家財に損傷を与える事のないようにご注意ください。また、作業時は十分なスペースを確保してください。

取付け設置時に必要な道具・工具は揃っていますか？

- 必要に応じて、スパナ、六角レンチ、ボックスレンチ
- 滑り止め付きの軍手（怪我防止、落下防止に便利です）
- メジャー（設置箇所の計測、水平、垂直の計測に使用します）
- ペン、鉛筆（設置箇所、ネジ穴のマーキングなどに使用します）
- マスキングテープ（水平目安の為にがあると便利です）
- 水平器

ポイント

水平器はあくまで目安としてください。実際の水平は、金具の左右のネジ穴位置を床下からの同距離で計測する事で計った方が正確に水平が取れます。理由としては通常のお住まいでもある程度、数度などの傾きはあるからです。

取付けを始める前にもう一度チェック！

- 付属部品は揃っているか、取付けに足りない部品は無いかな。
- 金具に不備はないかどうか、破損などの不良部品・不良箇所は無いかどうか。
- モニターの適合をもう一度確認してください。
モニター側ブラケットを実際にモニター背面のネジ穴に合わせてみましょう。

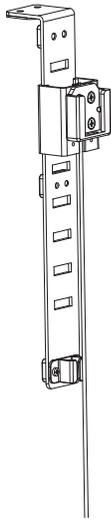
付属ネジに関して

- モニター側のネジは、多くのモニターを取付け可能にする為に数種類の径の太さで一般的な長さのものを付属しています。ただし、どうしてもそれらのネジで合わないモニターもある事から、そのような場合はお客様にてホームセンターなどで適切なネジをご用意ください。

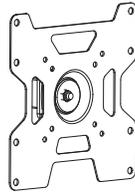
付属の部品一覧

※金具・部品の仕様や形状は実際とは多少異なる場合がございます。

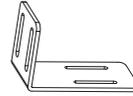
金具本体・金具に取付ける部品



a. パーテーション金具本体…1個



b. モニター側ブラケット
…1個



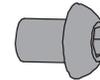
c. 引っ掛け金具
…1個



d. 滑り止めシール
…2枚



e. 六角レンチ…1個



f. M6×8 ボルト…2個



g. M6 ワッシャー (大)…2個



h. M6 ワッシャー (小)…2個

モニターを取付ける際に使用する部品



i. M4x12 ボルト…4本



j. M5x12 ボルト…4本



k. M6x12 ボルト…4本



l. M4x30 ボルト…4本



m. M5x30 ボルト…4本



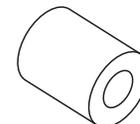
n. M6x30 ボルト…4本



o. M4~M6 ワッシャー…4個



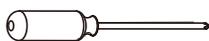
p. スパースー小 (12mm)…4個



q. スパースー大 (20mm)…4個

※多くのモニターに合う一般的な長さのネジが付属しています。万が一付属のネジで合わない場合は、別途ホームセンター等で適切なネジ類をご用意ください。

その他



r. ドライバー…1本

Step 1. モニターブラケットを取付ける前に

【1. モニターの据え置きスタンドや電源ケーブル等の配線を全て外してください】

モニターの背面がフラットで干渉する様な箇所がない場合

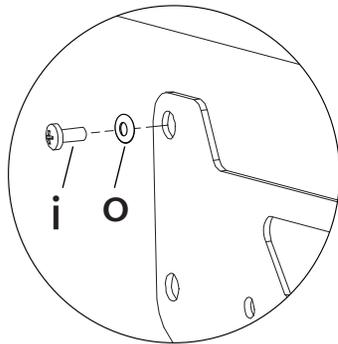
【1. モニター背面にブラケットを取付ける】

下の図を参考にして、モニター背面に開いている金具取付けネジ穴に▼モニター側ブラケット(b)を▼ワッシャー(o)、▼ボルト(i/j/k)を使って取付けます。[→Step3へ進む]

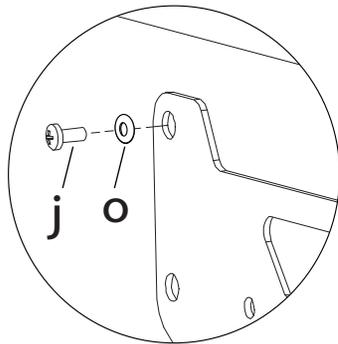
ポイント

- ワッシャー、ボルトはモニター背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属ネジの全ては使用しません。**
- モニター側ブラケットの穴は、モニター背面のネジ穴位置に合った箇所を使用してください。また、**左右平行になる穴**を使用して取付けてください。

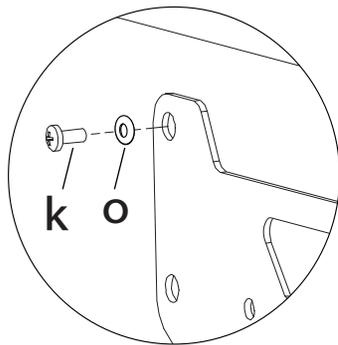
M4 ボルト
取付けの場合



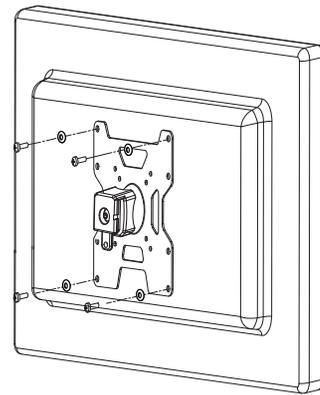
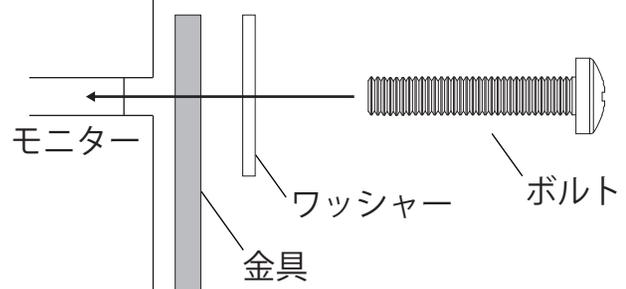
M5 ボルト
取付けの場合



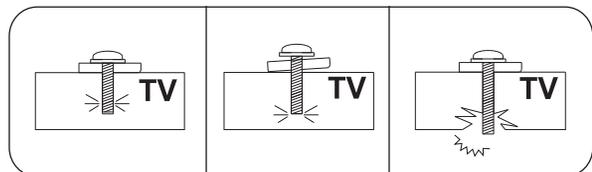
M6 ボルト
取付けの場合



取付け順序



最適なサイズのボルトを使用



注意



付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのモニターのネジ穴の径や深さに合わない場合は別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。無理に取付けを行うと、モニターの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

モニターの背面に段差がある場合や配線が干渉する場合

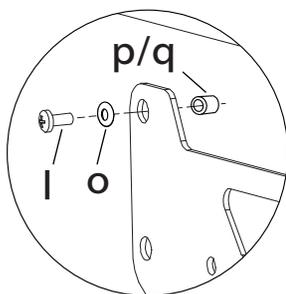
【1. モニター背面にブラケットを取付ける】

モニター背面に段差がある場合や、モニター側ブラケット取付け時に配線等に干渉する場合は、▼**スペーサー(p/q)**を使用して取付けます。下の図を参考にして、モニター背面に開いている金具取付けネジ穴に▼モニター側ブラケット(b)を▼**スペーサー(p/q)**、▼**ワッシャー(o)**、▼**ボルト(l/m/n)**を使って取付けます。[→Step3へ進む]

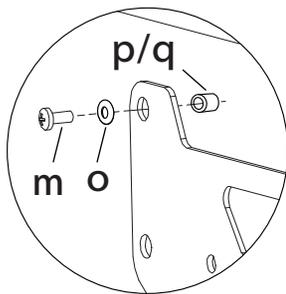
ポイント

- ・ワッシャー、ボルトはモニター背面に開いているネジ穴の大きさに合ったものを選んで取付けてください。**付属のネジ全ては使用しません。**
- ・スペーサーは段差の高さに合ったものを選んで取付けてください。
- ・モニター側ブラケットの穴は、モニター背面のネジ穴位置に合った箇所を使用してください。また、**左右平行になる穴**を使用して取付けてください。

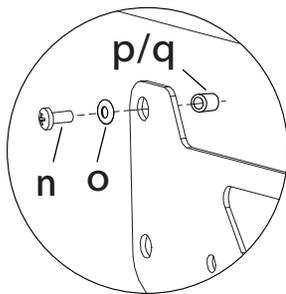
M4 ボルト
取付けの場合



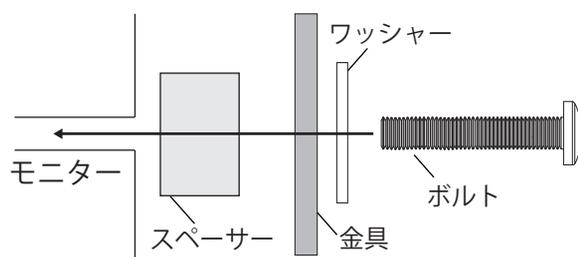
M5 ボルト
取付けの場合



M6 ボルト
取付けの場合



取付け順序



最適なサイズのボルトを使用



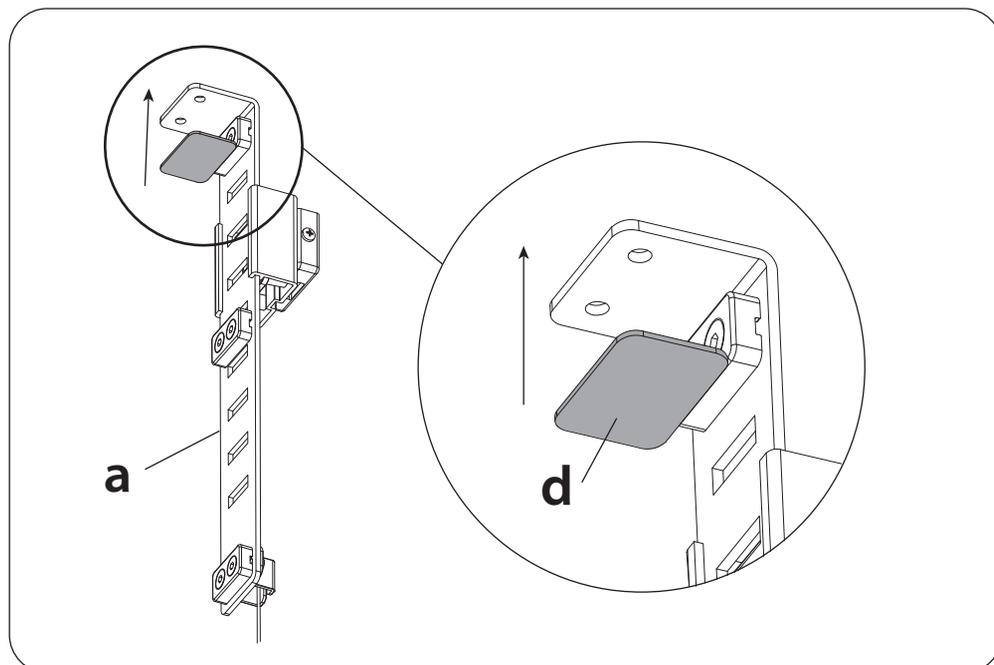
注意

- 付属しているボルト類は基本的なものになります。取付けのモニターネジ穴の径や深さに合わない場合は、別途適切なボルトをご用意の上お取付けください。
- スペーサーを使用しても干渉してしまう場合は、無理に取付けを行わないでください。
- 付属のスペーサーを両方使用しての取付けは大変危険です。無理に取付けを行うとモニターの破損や落下の危険があるので絶対に行わないでください。

Step 3 - パーテーション金具本体の組立

【1. 滑り止めシールを張り、引っ掛け金具を取付ける】

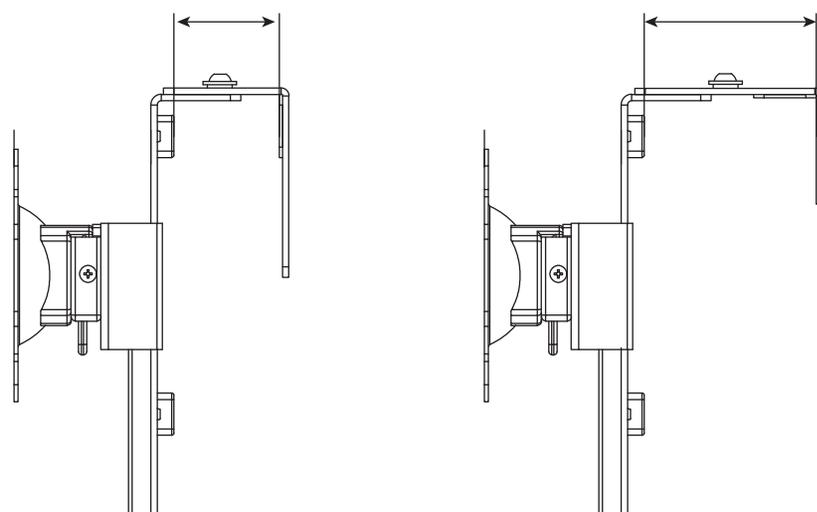
- 図を参考に、▼パーテーション金具本体 (a) に▼滑り止めシール (d) を一枚貼ります。



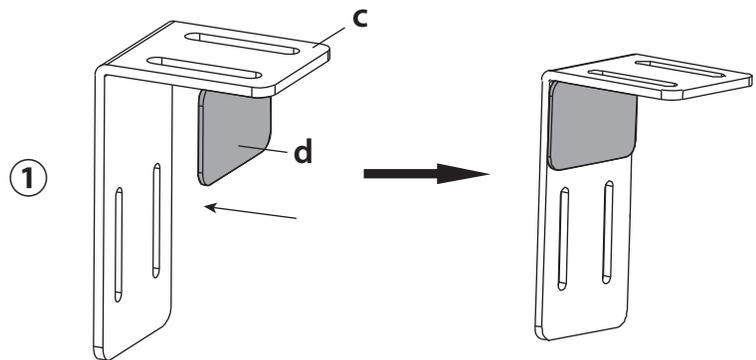
- ▼引っ掛け金具 (c) の向きを、設置するパーテーションの厚みに合わせて【A】、【B】より選択してください。

【A】 約34mm～62mm

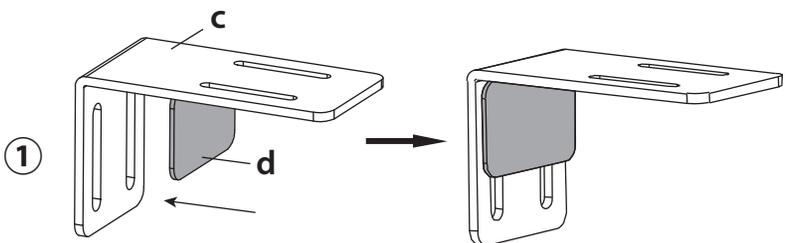
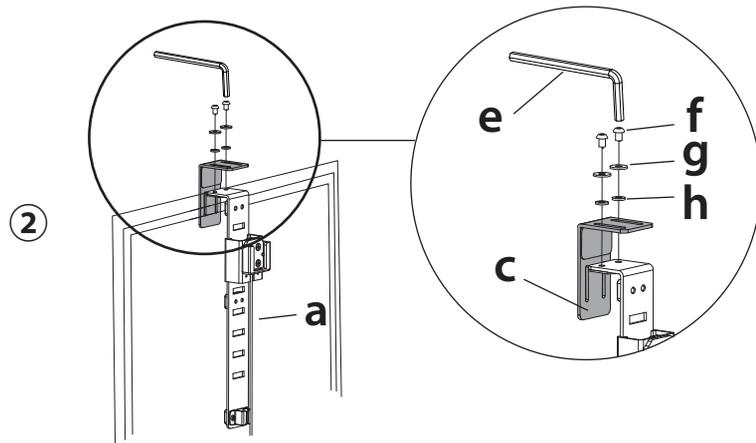
【B】 約60mm～89mm



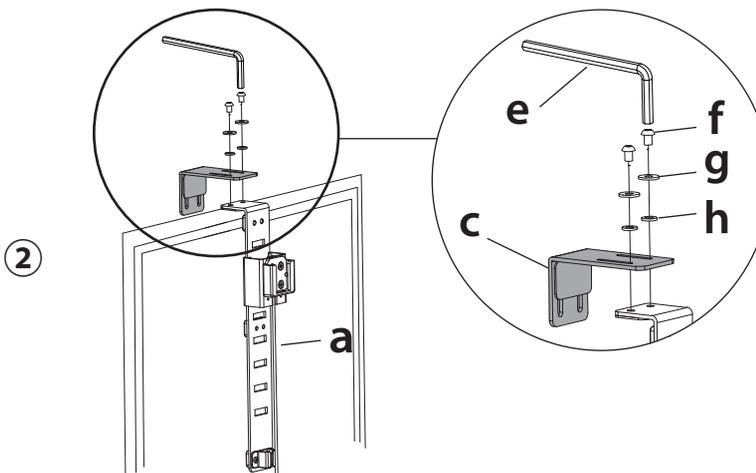
● 図を参考に▼引っ掛け金具 (c) に▼滑り止めシール (d) を一枚貼り、▼パーティション金具本体 (a) に▼引っ掛け金具 (c) を引っ掛けます。



【A】
約34mm～62mmの場合



【B】
約60mm～89mmの場合



Step 4 - パーテーションに金具を引っ掛けて固定する



注意



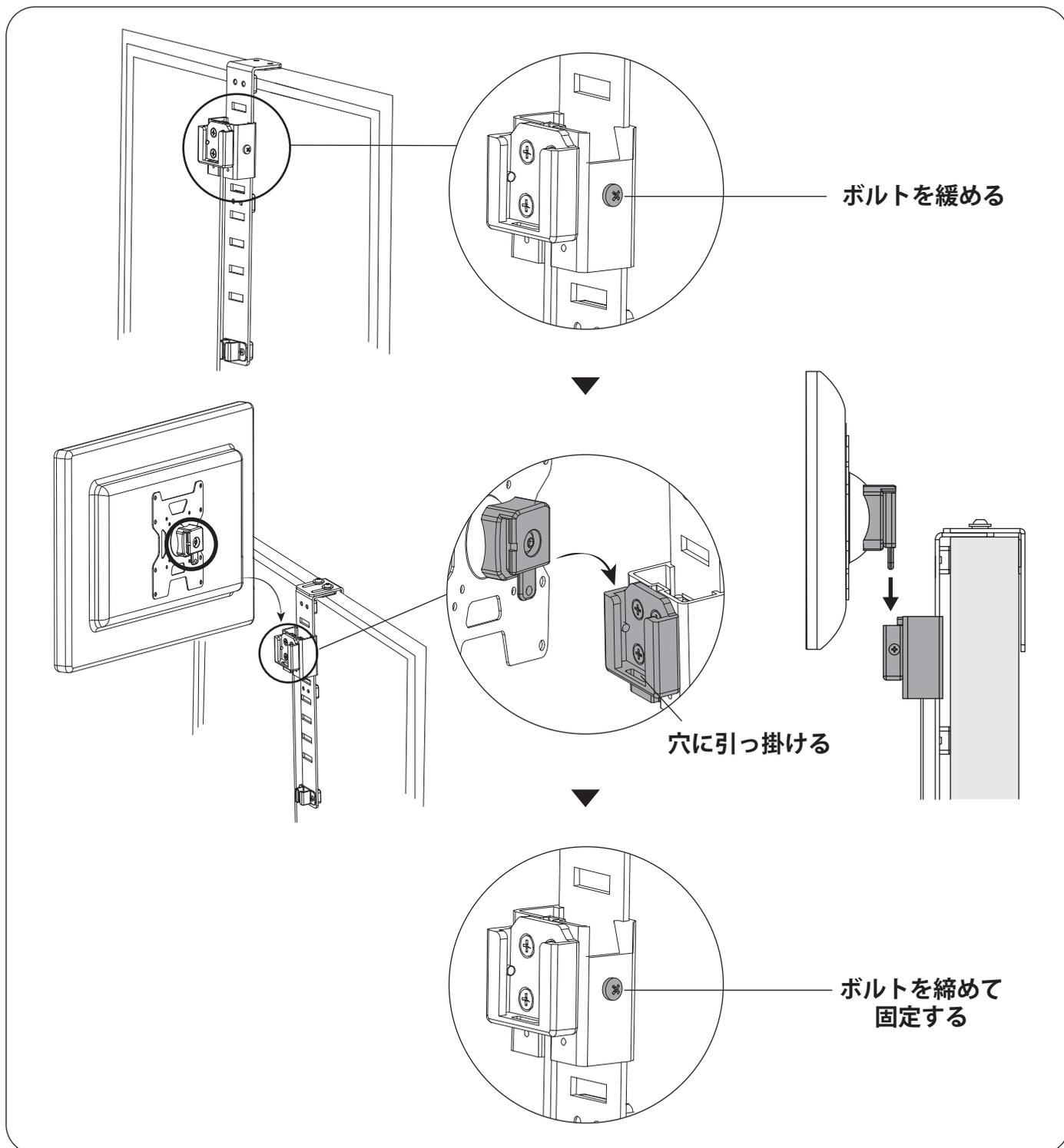
この項目での作業は、モニターの大きさや重量によっては大変困難な作業となる場合がございますので、無理に1人で作業を行わずに2人以上での取付け作業を行ってください。



無理な作業による作業者の負傷や、モニターや金具などの破損・損傷などについては弊社では一切の責任を負えませんので、安全に作業を行うようにしてください。

【1. パーテーションにモニター側ブラケットを引っ掛ける】

- ▼パーテーション金具本体(a)の、前に飛び出た部分の横に付いているボルトを緩め次の動作ができる状態にします。
- 下図を参考に、▼ブラケット(b)の引っ掛ける部分を▼パーテーション金具本体(a)の穴へ上から引っ掛けます。
- 最後まで引っ掛けたら、横に付いているボルトを締めなおして固定します。



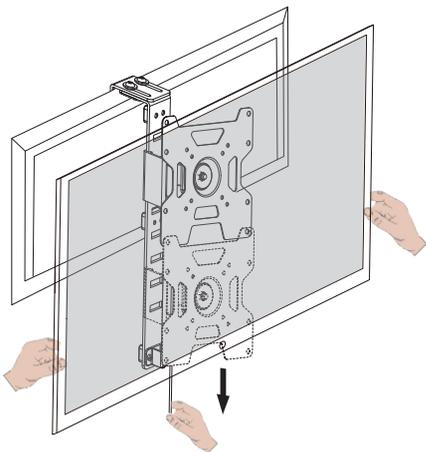
【2. モニターの高さを調節する】

- 画面の高さを変えるには、金具本体から伸びている紐を下に引っ張り、カギ部分を下に移動して別の穴に引っ掛けます。上に移動する際は、モニターごと上に持ち上げて調節してください。



注意

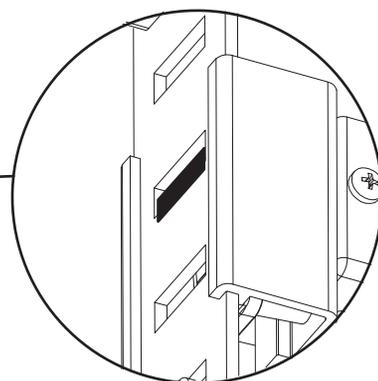
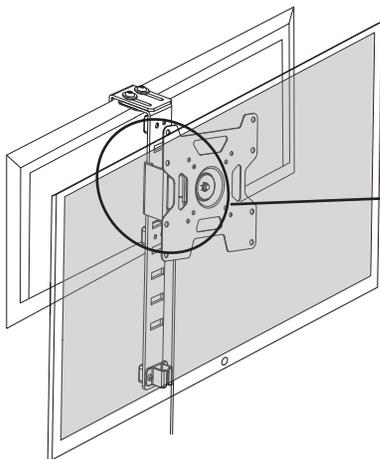
! 紐を引っ張る際は、必ずモニターの下を持って重みを支えながら行ってください。紐だけを引っ張ると勢いよくモニターが落下する恐れがあり大変危険です。



紐を引っ張って下方方向に調節します。
上方方向に調節する際はモニターごと上に持ちあげます。



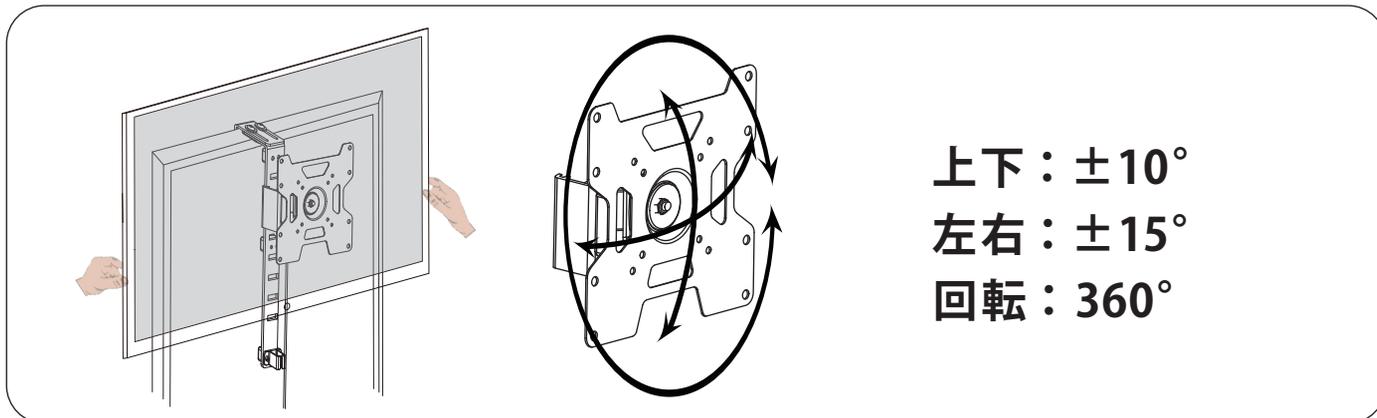
! 紐だけを引っ張らない！
必ずモニターを支えながら行ってください。



カギ部分がカチッと
穴にはまっているのを
確認してください。

【3. 上下左右の角度を調節する】

● モニターを持ち直接動かすことで、上下左右に調節、また回転させることができます。



Step 5. 最終確認

- ✓ 各取付け部分およびボルトやネジ・ナットの緩み、ガタつきがないかを確認してください。緩みが確認できた際は増し締めをしっかりと行ってください。少しでもガタつきや、違和感があった際には取付けを中止してください。また、この確認作業は定期的に（3ヶ月～半年に1回程度）実施し、問題なく使用できていることを確認してください。
- ✓ 経年使用による落下が無いように注意をして使用してください。

エモーションズ株式会社

〒214-0032

神奈川県川崎市多摩区柵形 2-1-17 岩本ビル 4F

店舗名：エース・オブ・パーツ / KABEYA

TEL : 044-455-4728

MAIL : info@emotions.co.jp